

BIM セミナー2021 第3回 (2021年7月8日 開催)

テーマ「OPEN BIM で活用する BIM モデル構造と意匠連携ワークフロー」
参加状況とアンケート結果

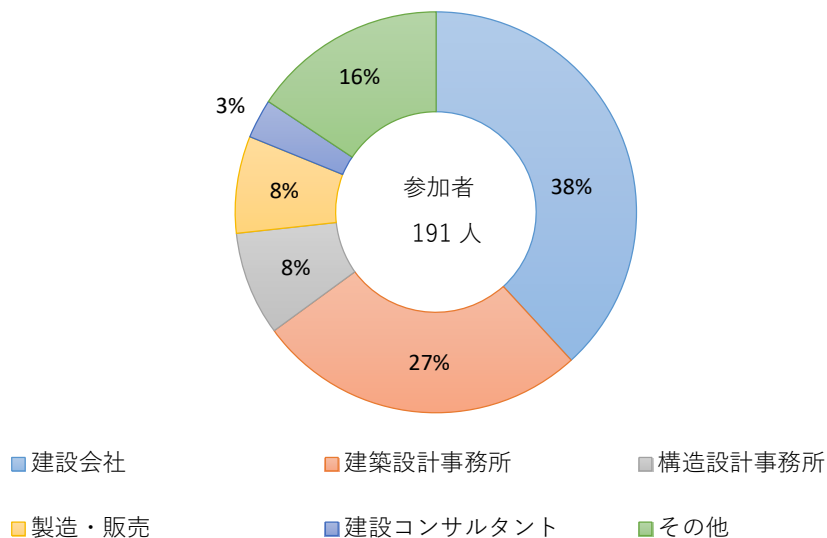


図 3-1：第3回 参加者の業種

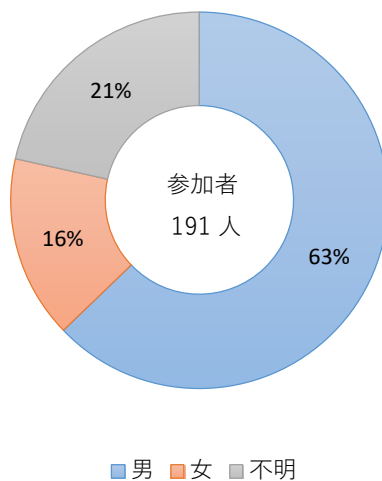


図 3-2：第3回 参加者の性別

第3回の申し込みは246人で、当日の参加者は191人でした。(参加率78%) これまでのセミナーの中で、参加者は最も多かったです。

図3-1に示すように、今回は建設会社の方の参加が最も多く、次に多いのは建築設計事務所でした。構造専門の設計事務所の方は全体の8%でした。今回は、第1回目および第2回目とは異なった参加傾向になっています。

性別は、図3-2に示すように63%が男性、16%が女性でした。

なお、今回はグラフィソフトジャパン様のセミナー案内のご協力もあり、全国各地からの参加者の構成となっています。

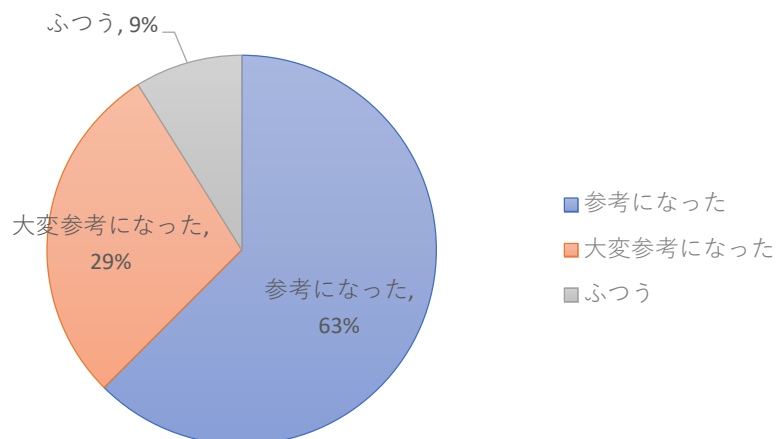


図 3-3 (1) : GS プレゼン (回答数 56 人)

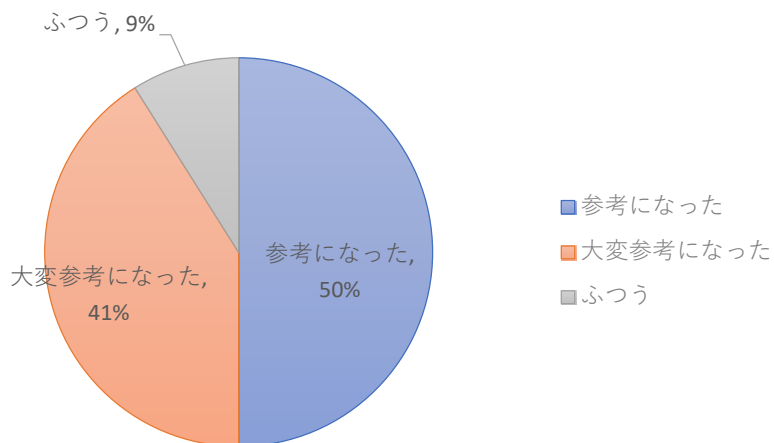


図 3-3 (2) : 高尾氏プレゼン (回答数 56 人)

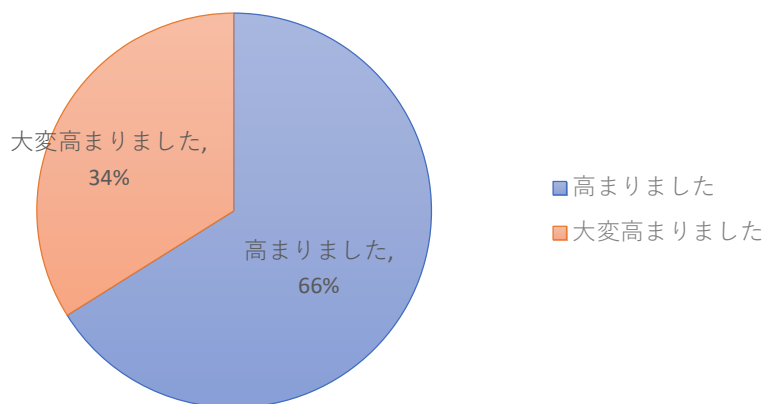


図 3-3 (3) : BIM への関心 (回答数 56 人)

図 3-3 は参加者のうち 56 名の方が回答したアンケート結果です。グラフィソフトジャパン様、高尾様の発表に対し、参加者の約 9 割の方が「参考になった」または「大変参考になった」と回答しています。また、セミナーを通して BIM への関心の高まりを参加者の皆様感じていただいています。また、第 1 回および第 2 回セミナーと同様、感想のコメントでは「大変参考になりました」、「非常に面白かった」といった内容がほとんどでした。

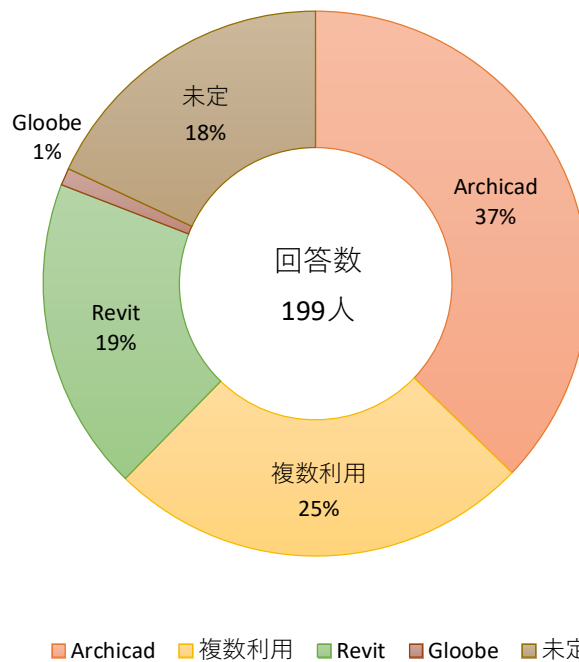


図 3-4：現在使用している BIM ツールについて

図 3-4 は、現在使用中の BIM ツールについての調査結果を示します。これまでのセミナーの調査結果と異なり、Archicad によるセミナーであったこともあり、グラフに示すように Archicad ユーザーの方が最も多いです。BIM をまだ使用していない方は約 2 割となっています。

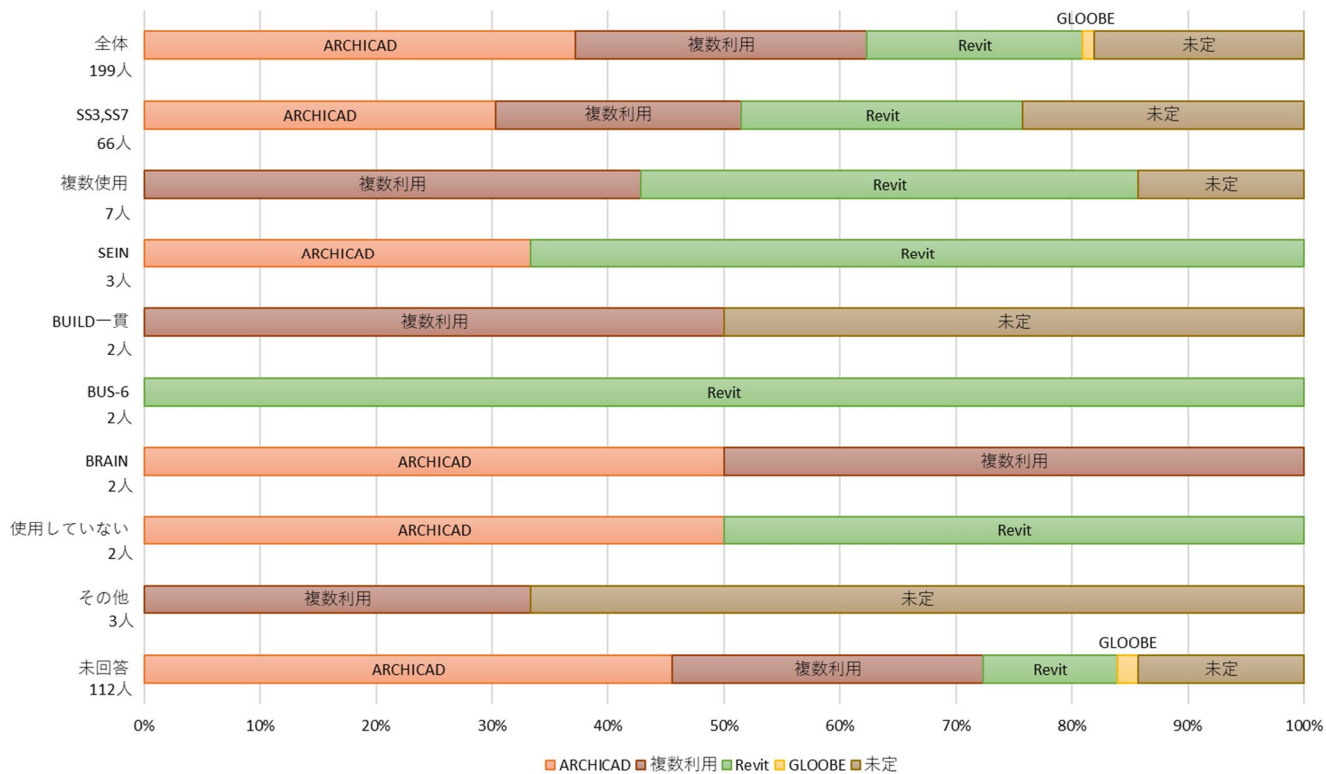


図 3-5：一貫計算プログラムと BIM ツールの利用状況（回答数 199 人）

図 3-5 は、一貫計算プログラム別に BIM ツールの利用状況を調べた結果です。ユニオンシステム SS3,SS7 ユーザーが 66 人と最も多いですが、そのうちの約 3 割が Archicad、約 2 割が複数利用、Revit を使用しています。GLOOBE（福井コンピュータ）のユーザーは少ない傾向にあります。

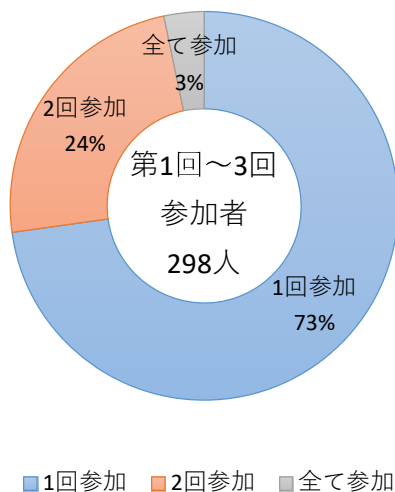


図 3-6：BIM セミナー2021 参加状況

図 3-6 は、BIM セミナー2021（第 1 回～第 3 回）の参加状況を示しています。BIM セミナー2021 は 3 回実施、298 名の方に参加いただきました。1 回参加は全体の約 7 割、2 回以上参加した方は 3 割程度という結果になっています。

BIM セミナー2021(第 1 回～第 3 回)アンケート結果 総括

第 1 回参加者は 101 人、第 2 回は 97 人、第 3 回は 191 人でした。これらを合計すると 389 人の参加がありました。

参加者を業種別にみると、構造設計事務所、建築設計事務所および建設会社が多くを占めています。

性別でみると、女性の参加が少ない傾向にあります。

感想コメントでは、「たいへん参考になった」「非常に面白い内容でした」といった内容がほとんどでした。また、アンケートでは、参加者にセミナーを通じて BIM への関心の高まりを感じていただいていることがわかりました。

現在使用中の BIM ツールについては、セミナーの内容によって調査結果が異なりますが、第 2 回セミナーでは Revit ユーザーが最も多く、第 3 回セミナーでは Archicad ユーザーが最も多い結果となっています。また、調査結果より複数の BIM を併用している方も多く存在することが確認できます。

一貫計算プログラムについては、どのセミナーにおいてもユニオンシステム SS3,SS7 ユーザーが最も多い結果になっています。

全 3 回のセミナーを通して、2 回以上参加された方は全体の 3 割弱でした。

今回の第 3 回セミナーでは、全国各地より参加がありました。グラフィソフトジャパン様のご協力によるところもありますが、BIM における構造図作成に関するセミナーが現状少ないため、そのようなセミナーを求める方々に多く参加いただいたものと考えられます。アンケートにおいて、「構造図作成の実例を初め見ることができたいへん参考になった」、「今後も構造設計の活用セミナーがあれば案内してほしい」といった意見がありました。今後も BIM と構造設計とのつながりをテーマにしたセミナーを開催していくことが、新規参加者を増やしていく上でも大変有益なものになると思われま

(森山史朗)